

改善方策実施計画書

担当部局：文学部

責任者：文学部長

幹事：文学部事務室

2011年3月10日

認証評価指摘事項	【全学】【総評】教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。					
点検・評価問題点	教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。					
改善方策	1-3（新規）文学部の教育・研究上の目的を学則に定める。					
計画	前期		中期		後期	
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
				→		
2010年度実施計画		達成時期	2010年度取り組み結果			
なし			A 完全に達成	○	B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由) 2010年12月に教授会で定めHPに公表したが、学則改正は行っていない。			
2011年度実施計画		達成時期	2011年度取り組み結果			
学則改正する（全学部）。		2012.3	A 完全に達成	○	B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由) 全学の調整が済み次第、学則改正の運びとなる予定である。			
2012年度実施計画		達成時期	2012年度取り組み結果			
学則化に際して全学的な表現統一方針を固める。 文学部教授会で検討、承認する。 学則改正を行う。		2013.3	A 完全に達成	○	B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由) 全学的な統一がまだであり、学則改正が行われていない。			
2013年度実施計画		達成時期	2013年度取り組み結果			
全学的な統一を待って学則改正を行う。		2014.3	A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)			
2014年度実施計画		達成時期	2014年度取り組み結果			
			A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)			
2015年度実施計画		達成時期	2015年度取り組み結果			
			A 完全に達成		B 達成半ば	C 未達成
			(B または C の理由)			

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	【全学】【総評】教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。
点検・評価問題点	教育・研究上の目的は、学科および専攻ごとに、学則に定められているものの、学部および研究科の目的は定められていない。
改善方策	1-3（新規）文学部の教育・研究上の目的を学則に定める。

(2011年3月31日現在)

【現状の説明】

2010年12月の教授会で文学部の教育研究上の目的を次のとおり定め、年内にHPで公開した。

「文学部は、人間の生き方やあり方を考究する総合的な人間学としての文学をはじめとする人文諸科学に関する学識を修めることを通して、多様な現代社会に対応できる能力ならびに国際社会に対する広い識見と深い洞察力を有する人材の養成を目的とする。」
しかし、学則改正の手続きは取られていないので、2011年度に手続きする。

所見

2011年度からの改善が進捗することを期待する。

(2012年3月31日現在)

【現状の説明】

上記の通り、文学部の教育研究上の目的は定められ、ホームページ上でも公開しているが、全学的な調整の後に学則改正となるという手順があるので、執行部との協議を重ねる。

所見

全学的な調整が進められ、学部の目的が早急に学則に盛り込まれることを期待します。

(2013年3月31日現在)

【現状の説明】

文学部の教育研究上の目的を既に定め、学則改正に向けて全学的に調整中である。

所見

全学的な調整が進み、次年度中に学則に定められることが望まれます。

改善方策実施計画書

担当部局：文学部

責任者：文学部長

幹事：文学部事務室

2011年3月10日

認証評価指摘事項	【全学】【総評】理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、周知の程度は学部、研究科により差が見受けられる。とりわけ在学生には『履修の手引』への掲載やガイダンスなどを通じて、一層の周知を図ることが期待される。					
点検・評価問題点	大学の理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、なお一層周知させる必要がある。 文学部の理念・目的・教育目標を『履修の手引』に明示し、ガイダンスなどを通じて学生へ周知する。					
改善方策	1-4（新規） 文学部の理念・目的・教育目標を履修ガイダンス時に周知できるよう、『履修の手引』に明示する。					
計画	前期		中期		後期	
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
		→				
2010年度実施計画		達成時期	2010年度取り組み結果			
なし。			A 完全に達成	B 達成半ば	○ C 未達成	
			(B または C の理由) 今回の認証評価の指摘で初めて問題点を認識した。			
2011年度実施計画		達成時期	2011年度取り組み結果			
『2012年度入学生用履修の手引』に記載する。在学生はガイダンス資料に掲載する。		2012. 3	A 完全に達成	○ B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由) 『2012年度入学生用履修の手引』に記載した。在学生については各学科ガイダンス要項に記載し、周知する。			
2012年度実施計画		達成時期	2012年度取り組み結果			
『履修の手引き』『大学案内』に掲載したので、ガイダンス等を通じて学生に周知させる。		2012. 4	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2013年度実施計画		達成時期	2013年度取り組み結果			
			A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2014年度実施計画		達成時期	2014年度取り組み結果			
			A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			
2015年度実施計画		達成時期	2015年度取り組み結果			
			A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成	
			(B または C の理由)			

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	【全学】【総評】理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、周知の程度は学部、研究科により差が見受けられる。とりわけ在学生には『履修の手引』への掲載やガイダンスなどを通じて、一層の周知を図ることが期待される。
点検・評価問題点	大学の理念、目的、教育目標は大学案内やホームページなどで学生や受験生に周知されているが、なお一層周知させる必要がある。 文学部の理念・目的・教育目標を『履修の手引』に明示し、ガイダンスなどを通じて学生へ周知する。
改善方策	1-4（新規）文学部の理念・目的・教育目標を『履修の手引』に明示し、履修ガイダンスや基礎演習などの授業において周知を徹底させる。

(2011年3月31日現在)

【現状の説明】

この問題は、今回の認証評価で指摘され初めて認識したため、改善方策は現状では立てていない。
2011年度以降の課題とし、計画を練った。

所見	学生への周知時期を考慮して、達成時期を再検討してください。
----	-------------------------------

(2012年3月31日現在)

【現状の説明】

文学部の理念・目的・教育目標、カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを、『履修の手引き』『各学科ガイダンス要項』『大学案内』に掲げた。2012年度ガイダンス等を通じて、学生・受験生に周知をしていく。

所見	学部の理念・目的・教育目標、カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーがさまざまな機会と媒体を通じて周知されつつあることは大いに評価できます。今後とも努力が継続されることを期待します。
----	---

(2013年3月31日現在)

【現状の説明】

三つのポリシーについて、文学部教務委員会を経て修正したものを、『履修の手引き』、各学科『ガイダンス要項』『大学案内』に掲げた。

所見	さまざまな媒体を通じて3つのポリシーの周知が図られていることは評価できます。今後は、何らかの方法により、どの程度浸透しているか周知度の検証が必要でしょう。
----	---